



朝日学園・みつ朝日学園連合PTA広報誌

Trinity

トリニティー

Vol.7
2016



運動会

CONTENTS

- | | |
|-------------|-------------------|
| 1— 座談会 | 17— 表彰 |
| 3— 大人の修学旅行記 | 19— インタビューで知る朝日学園 |
| 5— 幼稚園 | 21— 行事一覧 |
| 9— 小学校 | 23— 数字で見る朝日学園 |
| 13— 中等教育学校 | 25— 朝日学園教職員一覧 |



<http://www.asahijuku.ac.jp>

朝日学園

はじめに

鳥海学園長との初めての出会いは幼稚園での「ミッキー先生」姿でした。黒い耳と可愛いしっぽをつけたその姿は子ども達はもちろんのこと周囲の人々をも笑顔にさせてくれます。そのしっぽを形状・触感ともに非常に苦心されて製作されているということを知りました。そこには子ども達を笑顔にするために最大の努力をするという学園長の教育理念が表れているように思えました。

朝日学園のPTA活動も「子ども達が笑顔で通える環境作り」のために日々行われています。時代とともにその活動形態は変容するかもしれませんが、そこに流れる思いは決して変わることはないでしょう。各校園の執行部が力をあわせて作成する「トリニティー」。誌面を通して、皆様が朝日学園で過ごした日々を振り返り、その時の自分自身を笑顔で愛しむ時間を持っていただけたら幸いです。「ミッキー先生のしっぽ」のような存在に「トリニティー」がなれますことを願っての7号の発刊です。

朝日学園・みつ朝日学園連合PTA会長 田中 享子

座談会 朝日学園で過ごして

(とき)H27年11月6日 (ところ)幼稚園にて

田中: 朝日塾中等教育学校7期生(高3)39名の内10名が幼稚園、小学校、中等教育学校と朝日学園で育った生徒達です。県内でも幼稚園から高校までを男女ともに過ごせるのは朝日学園だけです。同じ学園内で過ごすことについて、岡崎園長先生を囲んで語り合いたいと思います。

園長: ここは親から離れて過ごす初めての集団です。その大切なお子様を預かるという責任の重さを常に感じています。人格形成の基礎そして生きる力を育てる場としてどうあるべきであるかを考え、それを日々具現化して行っています。特にしつけを大事にしています。

大塚: そうですね。園ではほんとうによく子どものことを見ていただいていたと思っています。給食は必ずお持参でしたので、おかげできれいな箸の使い方ができるようになりました。幼い時からどこへ行っても褒められました。また時計を見て行動するという習慣もつけていただきました。

大塚: 当時の担任の先生が時計を5分早めていたと聞きました。5分前集合ができるようにという考えでしょう。しっかりとしたしつけをしていただいたと思います。

園長: 卒園児に思い出を聞くと、しっかりと教育を受けたこと、大変だったけれどもがんばったことが印象に残っていると言いますね。達成感があることが思い出になっているようです。

大塚: マーチングとかですね。本当にリズムをとるところから始めて、あれほどのことができるようになるのですから、先生方の指導力は素晴らしいと思います。

園長: マーチングは保護者の方の協力があってこそできることです。楽器運びをはじめお手伝いいただけることに感謝しています。

大塚: そういう行事があるためか、確かに保護者のつながり、子ども同士のつながりが深いですね。いまでも幼稚園の時から保護者との付き合いが続いていますから。

大塚: 保護者の顔がわかるというのは安心感につながります。安心



という意味では幼小中等とバス通学だったのも安心の一つです。運動不足が懸念されますが。

望美: その分グラウンドを走り回っていますよ。昼休みに芝生でサッカーをしている中心が7期生です。この7期生は仲が良くして結束力があります。

田中: 結束力があるのは確かですが、それは知り合いだけで固まるというものではないというところがいいと思います。転入生の多い学年ですが、新しい友人を受け入れるしなやかな人間力をもっています。また学年を越えてのつながりがあるのも本校ならではかもしれません。

大塚: 学園内での知り合いだけで他をよせつけない集団が伝統校にはありがちですが、受け入れる姿勢があることは素晴らしいですね。また学園内の制服が統一されているのもいいなと思います。統一感があり学園の子どもだとすぐわかる。仲間意識も高まるのではないのでしょうか。

園長: 小学校や中等教育学校へ行って、懐かしい顔を見るととてもうれしくなります。それは保護者に関しても同じです。紅華祭のバ

出席者 (写真左より)	
岡崎多美子	幼稚園園長
田中 享子	連合PTA会長
大塚 淳	中等教育学校現PTA会長
大塚 久美	元幼稚園PTA会長
鳥海 望美	元小学校PTA副会長
	中等教育学校副校長



平成13年度 朝日塾幼稚園 入園 記念2001.4.12

ザーに行くと、幼稚園からの保護者の方に会うと旧友に会ったような感じがして、すぐに当時の感覚にもどって話はずみずみです。望美: 卒園児と話していて、マーチングをしていたことが吹奏楽部へとつながっていたりすることを聞くと嬉しいです。

大塚: 朝日学園から他の高校へ行かれた保護者の方とお話すると、ここに残ればよかったという声を聞きます。やはり面倒臭がよかったということとを他と比べることで実感されるのではないのでしょうか。

大塚: それに学校設備等がいいですからね。私学はお金がかかりますが、それだけのものがあると思います。息子は高3になって学習時間の確保のために寮に入っています。寮があるのもいいですね。



田中: 大塚君には感謝しています。サッカー一部を引退して勉強モードに入っているにもかかわらず、野球部に参加していただいたのです。息子の所属する野球部は部員数が足りず、高3最後の公式戦に出場できない状態だったのですが、サッカー部の2人が参加してくれたおかげで最後の公式戦に参加することができました。高3の1学期にも関わらず野球部に参加してくれた、その2人もが幼稚園からの友人でした。

園長: いいお話が聞けました。人としての大切な部分が育っているということですね。

田中: 園長先生がよく言われている「根っここの部分」の教育が園でしっかりされていたのだと思います。

望美: 利他の精神が育っているということですね。その公式戦が終



わった後のミーティングで高3生が一人ずつ感想を述べていたのですが、「親に感謝したい」という生徒が何人もいました。素直に育っているなと感じました。

園長: 同じ学園内にいると、送り出した後の子ども達の様子を知ることができて有難いです。どう育っているのかの見通しがたつと「指導は間違っていなかった。がんばろう」というやる気がさらにでできます。

望美: ちょうど7期生が幼稚園在園中にはパソコン教室「ピクシス」の担当として関わっていました。その時のきらきらした笑顔を今もはっきりと覚えています。その子ども達が高校生になって、それぞれの成長した姿を見ることができるとはとてもうれしく有難いと思っています。

園長: 幼稚園では卒園した小1・中1生を対象にして同窓会を開催しています。それ以外の年齢でも同窓会をしたいと考えています。子どもだけではなく退職された先生も含めてみんなで集まれる機会を設けたいと思います。

大塚: 例えば年に一回日時と場所を決めて、そこに朝日学園に関係した人が集まるといようなことを考えてもいいかもしれません。一日お店を借り切っておくとか。毎年うらじゃの日にするとか。以前うらじゃの後に会場を借り切って懇親会をしたことがありますが、あの雰囲気がいいと思います。

園長: みんながファミリーとして集まれる基盤作りをぜひやりたいですね。



大塚: つながっていくという点では、幼稚園と小学校はつながりが濃い感じがします。中等ももっとつながっていくべきだと思いますね。学園内の行事はHPを見ればわかるかもしれませんが、それだけではなく互いに把握しあい参加しあえる雰囲気があってもいいと思います。

田中: その部分をPTAの立場としては、連合PTAの存在で補っていただければと思っています。朝日学園で過ごした子ども達の卒業後の成長を見ることができるといいですね。

園長: 連合PTAの立ち上げ時には、どういった活動になるのかと聞いていましたが、「トリニティー」も7号となりましたし、朝日学園のつながりを深める基盤作りの活動をこれからも期待しています。



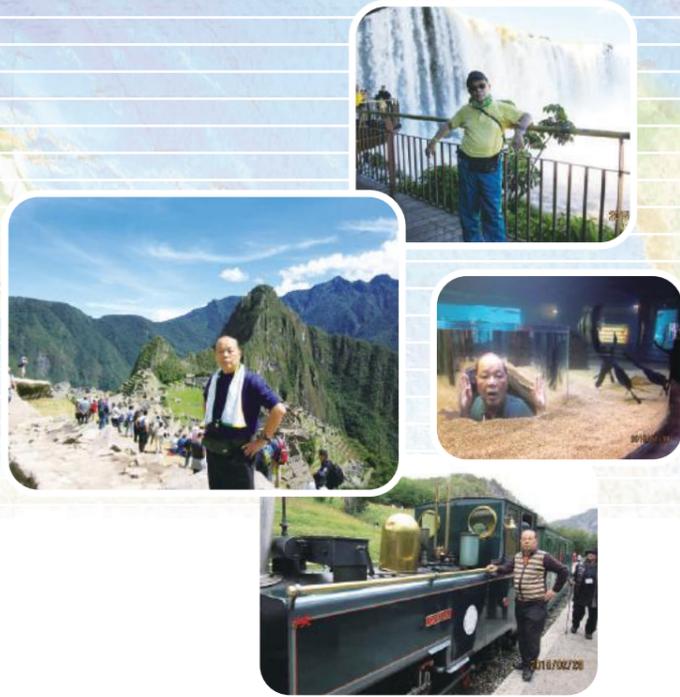
平成15年度 国立吉備少年自然の家にて 2003.7.18

～旅を通じて子ども達に伝えたいもの～

大人の修学旅行記

- ・神戸港
- ・シンガポール
- ・コロンボ
- ・レユニオン島
- ・ダーバン
- ・ケープタウン
- ・ウォルズベイ
- ・リオ・デ・ジャネイロ
- ・イグアス
- ・ブエノスアイレス
- ・ウシュアイア
- ・チリアンフィヨルド
- ・マチュピチュ
- ・イースター島

鳥海学園長が大人の修学旅行から帰って来られたのち、いろいろな場面で、そこでの体験・経験を子ども達に話してくださいました。とてつもなく広い世界の話にやや不思議顔の園児。世界各地の話に興味津々の低学年。戦争中だった鳥海学園長の子ども時代に思いを馳せながら、70年かけて夢を叶えた学園長の人生に学ぶ5年生。子ども達は何を感じ何を考えたのでしょうか。



幼稚園 ～世界は広いよ～

世界って？地球って？幼稚園児にとってはスケールの大きな話でしたが、長い期間、船で海を渡った時の話を、ワクワクした顔で聞いていました。



先生は見つけられなかった。みんなが大人になったら探してね。

ミッキー先生 宝島は見つかった？

地球は丸くてと～っても大きいよ

にこにこクラブ ～世界は不思議にあふれてる～

夏休み中のにこにこクラブ（アフタースクール）は、低学年が中心でしたが、世界各地の地形や特徴にも、とても興味を示していました。



世界中で一番おいしかった料理は何ですか？

船上で食べた日本食のうなぎです(笑)

5年生 ～夢をもつことの大切さ～

すぐに叶う夢、長い時間をかけて叶う夢、色々な夢の叶え方があります。自分の“夢”について考える時間になりました。



70年かけて夢が叶ったよ。みんなのおかげです。

〈ワークシート感想より〉

5年生Aさん
叶えられそうにない夢でも、夢に向かって努力すれば、いつか叶えられると思いました。私も夢に向かって一直線に頑張ろうと思います。
お家の人からのコメント
なかなか「夢」と聞いても、すぐにはバツと答えられませんでしたね。お父さん、お母さんも尋ねられた時「う～ん…」と考えてしまいました。大きな夢をもって想像を膨らませるのはとてもステキなことです。と同時に、すぐ身近な夢、「発表会でこの楽器をしたい!」というのもステキなことなので、どんどんたくさん夢を持って、小さなところから叶えてください。ずっと応援しています!!

5年生Bさん
80歳くらいになって夢を叶えた先生はすごいと思いました。だから、僕も早く夢が叶わなくても、ずっと、叶えようと思いました。
お家の人からのコメント
私は子どもの頃からずっとノーベル賞をとるのが夢でしたが、出産で仕事を長い間しなかったら、すっかり忘れてしていました。40代の今、大人が夢を実現しようと努力する姿も、子どもの可能性を広げるのだと感じ、自分自身も頑張ろうと思いました。

5年生Cさん
鳥海先生が家族のため、タクシーの運転手をしていたというのが感動した。私も家族や困っている人を支えられる職業を目指していきたい。そして、貧しい国を豊かにして、平等な世界にしたい。
お家の人からのコメント
目は、人の良い所を見るのに使い、耳は、人の気持ちを聴くのに使い、口は、人の喜ぶ言葉を使い、そして手は、人を助けるために使ってください。